

Corporate Social Responsibility

— CSR報告書2022 —

報告対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日



 Paralym Art
障がい者アートを応援しています

「元気なハート！」
作家名：桜本まゐ

 株式会社 富澤



社会と環境に貢献する

誠実信頼



彩京資源化センターにて撮影

ごあいさつ

弊社が発行するこのCSR報告書は、2022年版をもちまして第13版を迎えることとなりました。これはほかでもなく、日頃より御贖員を賜りますお取引先各社様、関係諸氏、団体のご支援の賜物でございます。本年も「CSR報告書2022」を皆様のもとにお届けできますことに、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的蔓延も、今年で約3年が経過しようとしています。それに伴い、働き方のリモート化や出版物、広告物のデジタル化が急速に進んだことで古紙の発生が減少に転じてまいりました。加えてロシアによるウクライナ侵攻も一端となり、今年2月頃から世界的な資源高へと推移しています。そのなかで原油やガスなどのエネルギーの供給も安定性を欠き、古紙の発生減少に拍車をかけたことにより、今年6月から古紙の価格は急騰しました。さ

らに、中国の景気の停滞も東南アジア各国の板紙の生産に影響を及ぼしています。

これらの要因によって、昨年に引き続き「CSR報告書2022」での報告対象期間においても当業界にとっては厳しい経営環境となりました。

世界的にアフターコロナ/ウィズコロナへの歩みは速まっているものの、世界情勢はなおも不安定な状況です。

その状況下において弊社は、企業や一般家庭からの古紙のリサイクルのみに留まらず、出版物流にかかわる廃棄物解体によるゼロエミッション活動や、他企業と連携したカーボンオフセットにも積極的に取り組んでおります。さらに、時代とともに刻一刻と変化するリサイクル方法やお客様の求めるニーズを的確に把握し、同業他社との連携による柔軟なり

サイクルシステムの構築によって、お客様に最適な解決方法をご提案してまいります。

そして社是である「誠実信頼」の言葉のもと、真摯な思いでお取引先各社様、関係諸氏、団体の多くの方々へ信頼とご支援をいただきながら、「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指してまいります。

今後も皆様のご指導、ご鞭撻を引き続き賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役社長 富澤 進一

CONTENTS

SDGs(持続可能な開発目標)	P4
グリーンサポート運動	P5
COMPANY OVERVIEW	P6
・彩京資源化センター(活動と主なるCSR)	P11
・三芳資源化センター(活動と主なるCSR)	
・厚木紙資源センター(活動と主なるCSR)	
・草加リサイクルセンター	
・所沢事業所	
・蓮田事業所	
・川崎事業所	
REPORT DATA	P12
・環境方針マネジメントシステム	P14
・情報セキュリティマネジメントシステム	
・認証・許認可	
・各事業所の環境負荷項目・環境保全	
・社会性報告	
・古紙リサイクルアドバイザー制度	
・編集後記	
VOICES	P15
当社の事業に関わる事業者様、法人様、関係者様から寄せられた言葉	

表紙の絵



作品名 元気なハート!
作家名 桜本まゐ

Profile
はじめまして、桜本まゐです。
アーティスト歴11年です。
浦和美術専門学校高等課程デザイン科に一年在学し、二十歳の頃約1年間デッサン教室、人体デッサン教室、似顔絵教室に通い、絵を学びました。
絵はわたしの感情を受け入れてくれる親友のような存在。
精神の病気になってから、絵は心の支えになっています。

パラリンアートとは

障がい者の社会参加と経済的自立を、彼らの芸術表現を通じて一般社団法人障がい者自立推進機構が推進する活動です。自らの才能を見つけ、活かしたい全ての人へのきっかけを与える活動を行っています。



■ 報告対象範囲

本社、彩京資源化センター、三芳資源化センター、厚木紙資源センター、草加リサイクルセンター、蓮田事業所、所沢事業所、川崎事業所
※蓮田、所沢事業所については、環境負荷項目の一部(電力・上下水道)は除外しています。

■ 報告対象期間

2022年度(2021年4月1日~2022年3月31日)
※活動や取り組み内容は一部直近のものを含みます

■ 発行日

2022年9月

■ 参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」

■ お問い合わせ先

本社 総務経理部 寛田 昭人
TEL:048-227-3098 FAX:048-226-2044
a.toida@tomisawa.co.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs (エスディーゼーズ)) : Sustainable Development Goals) 2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

株式会社富澤の中核事業は「紙のリサイクル」です。回収した古紙を徹底して分別・加工することで100%再資源化し『クローズドリサイクル』に寄与しています。また、当社の事業は国連の定めるSDGs (持続可能な開発目標)との親和性が非常に高く、国際労働機関 (ILO)が目標として掲げるディーセント・ワーク (働きがいのある人間らしい仕事)も実現しています。

当社は、「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成に向けて次のとおり取り組むことを意思表示 (宣言) します。

Governance (経済成長)

環境課題の解決に貢献

「資源の再生と廃棄物の大幅な減量を可能とし、作業の自動化・効率化を図り、「古紙は製品」という方針を基に環境保全に適合させるとともに、環境課題の解決に貢献します。」



Social (社会的包摂)

健康的で女性が働きやすい職場づくり及び働きがいのある労働環境の創出

「健康的で女性が働きやすい職場づくり及び働きがいのある労働環境の創出により、性差、年齢、障がいその他の状況に関わりなく能力強化を促進し、ディーセント・ワークを実現します。」



Environment (環境保護)

太陽光発電による電力供給、全面的なLED光源に移行

「持続可能なエネルギーを確保し、環境保全に寄与する。」太陽光発電による電力供給、全面的なLED光源に移行します。



福祉施設への作業委託により、障がい者の自立をサポート

「NPO法人グリーンサポート運動推進協議会」に協賛

彩京資源化センターでは「NPO法人グリーンサポート運動推進協議会」に協賛しています。学校や事務所などから排出される「使い終わった紙」を障がい者の皆さんが収集し当社が受け入れ、障がい者の皆さんの工賃となります。また三芳資源化センターでは埼玉県社会福祉事業団との取組みとして、雑誌・書籍を素材別に選別する作業を委託しています。実際に障がいのある方々に来ていただき作業をしていただいています。これらの事業は地域社会に根ざした協業であるとともに、障がい者の皆さんの自立を支援しています。



「グリーンサポート運動」に参加しています

弊社では、川口市の「NPO法人グリーンサポート運動推進協議会」に協賛し、障がい者のみなさんの仕事づくりに協力しています。

「グリーンサポート運動」とは

学校や企業などで「使い終わった紙」を寄付する運動です。障がい者施設の利用者さん達が集めて「リサイクルする」という仕事が生れます。紙なら何でもOKです。ただ、飲み物や食べ物などで汚れた紙や使い終わったティッシュなどはリサイクルできません。古紙をきちんと集めればリサイクル資源として販売できます。そしてその売り上げは障がい者皆さんの工賃となります。新聞や段ボールなどもありがたいのですが、いつもはゴミ箱に捨てられてしまう紙 (例えばシュレッダーのクズや空き箱など) を捨てないで取っておくと資源になります。一般的に「燃やすゴミ」として捨てられているものの約半分は紙類と言われています。資源リサイクルをとおして少しでも減らしていくと同時に障がい者の仕事が増えていくことを目的としています。



- 「グリーンサポート運動」の参加企業は **460社**以上 (2021年10月1日現在)
※ 郵便局、小学校、薬局、信用金庫、幼稚園、事務所、工場等
- 古紙等の回収実績 **942トン** (2021年度)

古紙回収の仕事を通して、環境や社会に貢献

「使い終わった紙」を寄付して障がい者の仕事をつくる運動です。燃やすゴミの削減と障がい者の仕事づくりを実現して地域貢献と社会貢献を目指します。埼玉県南部の郵便局や小中学校・地元企業さんが多数参加しています。

回収作業参加福祉施設

- | | | |
|------------------|--------------------------|----------------------|
| ① みんと (安行慈林) | ⑥ ほっとすてーしょん (八幡木) | ⑪ 茶色いお家 (さいたま市緑区) |
| ② 友垣の里 (上青木西) | ⑦ このまんま (柳根) | ⑫ ハマウラ福祉工場 (さいたま市南区) |
| ③ らいぶ (西新井宿) | ⑧ 久美愛園 (さいたま市緑区) | ⑬ わかくさ会 (戸田市新首) |
| ④ ワークステーション西川口 | ⑨ 埼玉県障がい者共同作業所 (さいたま市南区) | |
| ⑤ 就労継続支援さじばと (里) | ⑩ たいむ (柳崎) | |

Check 川口市八幡木に古紙回収拠点の新設

川口市八幡木に古紙一時保管倉庫を新設し、より安全に効率よく回収作業ができるようになりました。



川口市子ども発達相談センターからの古紙回収風景



川口南幼稚園からの古紙回収風景



グリーンサポート運動 ▶▶ オフィスの書類かたづけサービス実施中!!

グリーンサポート運動として新たに企業様からの書類を集めるサービスをしています。障がい者福祉施設の利用者さんたちが定期回収に伺います。社会貢献運動にご協力をお願いします。

会社概要

創 業 1925年10月1日
資 本 金 9,000万円
役 員 代表取締役社長 富澤 進一
 常務取締役 伊福 洋
 常務取締役 太田 吉計
 常務取締役 笈田 昭人
 取締役 森 宝生
監 査 役 岩崎 重孝
監 査 役 富澤 希代美
従業員数 90名(2021年3月現在)

主要取扱品目 [産業古紙関連]
 ◇印刷・製本会社からの排出物
 [出版物流関連]
 ◇雑誌残本、書籍残本、付録や販促品等の難処理古紙他
 [回収古紙関連]
 ◇物流倉庫や店舗等より排出される段ボール類
 ◇一般企業より排出されるオフィス古紙や書類
 ◇機密書類
 ◇行政回収やその他集団回収の紙類

販 売 先 日本製紙株式会社、新東海製紙株式会社、
 特種東海エコロジー株式会社、王子マテリア株式会社、
 春日製紙工業株式会社、太洋紙業株式会社、
 丸王製紙株式会社、いわき大王製紙株式会社、
 新生紙パルプ商事株式会社、その他製紙メーカーなど
 数十社

富澤の歩み

1925年(大正14年)	台東区根岸において富澤西蔵が出版物の返本加工業として富澤西蔵商店創業
1952年(昭和27年)	荒川区東日暮里において有限会社富澤商店を資本金80万円で設立 代表取締役富澤西蔵が就任
1960年(昭和35年)	代表取締役富澤西蔵が就任 板橋営業所を開設
1962年(昭和37年)	有限会社富澤商店より株式会社富澤商店に組織変更
1968年(昭和43年)	草加営業所を開設
1973年(昭和48年)	厚木紙資源センターを開設
1974年(昭和49年)	株式会社富澤に組織変更
1975年(昭和50年)	創業50周年
1988年(昭和63年)	川口紙資源センターを開設
1992年(平成4年)	東京都産業廃棄物処理業(収集運搬)の許可取得
1993年(平成5年)	埼玉県産業廃棄物処理業(収集運搬・積替保管)の許可取得
1994年(平成6年)	日販事業所を開設
1995年(平成7年)	東京都廃棄物再生事業者登録
1999年(平成11年)	川口紙資源センターをリプレースし、彩京資源化センターとしてリニューアル 彩京資源化センターに選別ライン、破砕機等の加工設備を導入
2000年(平成12年)	神奈川県一般廃棄物処理施設(圧縮施設)の許可取得
2001年(平成13年)	草加営業所を草加リサイクルセンターにリニューアル 彩京資源化センター-廃棄物再生事業者登録
2002年(平成14年)	代表取締役社長に藤本義継が就任 ISO14001認証取得(本社・彩京資源化センター)
2003年(平成15年)	日販事業所をリプレースし、蓮田事業所としてリニューアル
2004年(平成16年)	本社 東日暮里から川口元郷へリプレース
2004年(平成16年)	ISO14001認証取得(厚木・板橋)
2005年(平成17年)	所沢事業所を開設
2006年(平成18年)	ISO27001認証取得(本社・彩京・厚木・蓮田・草加・板橋)
2007年(平成19年)	古紙商品化適格事業所に認定(彩京・厚木・板橋)
2008年(平成20年)	板橋営業所及び草加リサイクルセンターの古紙部門をリプレースし、 三芳資源化センターを開設 埼玉県「彩の国工場」に三芳資源化センターが指定
2010年(平成22年)	三芳資源化センターが古紙商品化適格事業所に認定
2011年(平成23年)	三芳資源化センター-廃棄物再生事業者登録
2012年(平成24年)	代表取締役社長に富澤進一が就任
2013年(平成25年)	川崎事業所を開設
2014年(平成26年)	厚木紙資源センター-廃棄物再生事業者登録
2015年(平成27年)	神奈川県産業廃棄物処理業(収集運搬)の許可取得
2016年(平成28年)	神奈川県産業廃棄物処理業(積替保管)の許可取得
2019年(令和1年)	三芳資源化センターをリプレースし、新三芳資源化センターとしてリニューアル
2021年(令和3年)	本社オフィスを増床リニューアル

Office Data

・営業活動及び事業所の統括 ・代納管理業務
 ・人事・総務・経理等の管理
 〒332-0011 埼玉県川口市元郷3-21-31-2F
 TEL.048-227-3098 FAX.048-226-2044



本 社

当社の中核拠点として業務を行っています。



オフィス全景

彩京資源化センター — 首都圏の拠点として機能しています —

〒332-0011 埼玉県川口市元郷3-21-31 TEL.048-225-4301 FAX.048-225-4304



Working Process

01 古紙搬入



機密書類処理



個人データや社外秘などの情報漏洩が一切ないよう、段ボールのまま破砕機に投入、小さい紙片に裁断します。

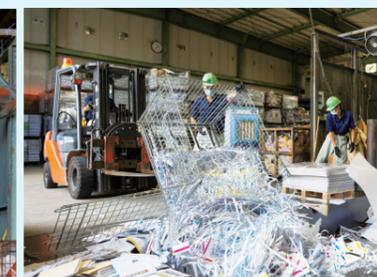
04 出荷



02 選別/圧縮梱包



03 保管



Plant Data

・5,000t/月の処理能力
 ・回収古紙及び機密書類処理等、企業のニーズに対応
 ・面積:5,000㎡

設 備	250馬力ベアラーマシン 2基(200t/日) 破砕機(10~25t/日) 選別ライン(4t/日) 背割断裁機 巻取り断裁機
保有車両	3tウィング車 1台 4tバッカー車 5台 8tウィング車 1台 4t車 3台 10tウィング車 2台 2t車 2台 15tウィング車 1台

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
廃棄物再生事業者	登録
埼玉県計量証明事業	登録
川口市エコリサイクル推進事業所	登録
太陽光発電	太陽光発電パネルを設置し、省電力に努めています
ハイブリッド車	3台所有
LED照明設置	LED照明を設置し、省電力に努めています
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています

機密文書	企業から機密文書の処分を受託し、再資源化しています
地域貢献活動	川口市内障害者施設運営団体連絡会を通じて雑誌・付録を資源化しています 川口市内の町内会の資源回収をサポートしています 一般・産業廃棄物者に対してゼロエミッションを推奨しています

三芳資源化センター — 古紙選別業務の効率化を実現 —

〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井834-1 TEL.049-274-7095 FAX.049-274-7125



Working Process

01 書籍保管
書籍をパレットに積み重ねて保管する。

02 古紙化自動工程 1
書籍を自動的に破砕する。

03 古紙化自動工程 2
破砕された紙屑を自動的に選別する。

04 選別工程
選別機と目視による品質チェックを行う。

05 圧縮梱包 1
選別された紙屑を自動的に圧縮・梱包する。

06 圧縮梱包 2
圧縮梱包された紙屑をパレットに積み重ねる。

07 製品保管
梱包された紙屑をパレットに積み重ねて保管する。

08 出荷業務
出荷トラックに積み込み作業を行う。

Plant Data

- ・ 5,000t/月の処理能力
- ・ 産業古紙及び出版関連古紙・難処理古紙を取扱う
- ・ 多種多様な製品に対応可能な静音・省電力マシンを開発
- ・ 面積: 4,000㎡

設備	120馬力省エネルギーマシン 1基(120t/日) 250馬力ペーラーマシン 1基(120t/日) 紐取り機 1台 背糊カッター 3台 輸出用プラットフォーム 1台
保有車両	15tウィング車 2台 4tパッカー車 1台 3tパッカー車 1台 4tウィング車 2台

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
廃棄物再生事業者	登録
彩の国工場	指定
LED照明設置	LED照明を設置し、省電力に努めています
バッテリーフォークリフト	作業車両6台は、脱化石燃料を目的にバッテリー車を使用しています
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています

福祉施設への作業委託	福祉施設に委託し、雑誌の付録、CD・DVD等を分別し、紙・プラスチックを再資源化しています(福祉施設の方にお越しいただき作業します。さまざまな技量を身につけ社会復帰を手助けいたします)
危険物削減	危険物の削減のため、潤滑油を高引火点潤滑油(指定可燃物)に変更しました
地域貢献活動	毎営業日事業所周辺の清掃を行い、美化活動に努めています三芳町の公立学校から古紙を回収し、トイレトーパーと交換しています

Topics

- 福祉施設の方による作業:
安全に作業ができるようにスペースを提供(空調設備完備)



- 『みよしSDGsのまちづくり宣言』に参加

富澤は2022年7月より『みよしSDGsのまちづくり宣言』に参加しました。三芳町とともに地域に貢献しています。

『みよしSDGs宣言制度』

令和3年7月にSDGs宣言制度を発足し、三芳町内において各分野で活躍する個人・事業所・団体等とともに、持続可能なまちづくりの達成を目的とした取り組み。



厚木紙資源センター — 神奈川の拠点として機能しています —

〒243-0806 神奈川県厚木市下依知1-8-1 TEL.046-245-2985 FAX.046-245-3825



草加リサイクルセンター

出版廃棄物の加工処理を行っています



Plant Data

- ・難処理古紙及び産業廃棄物の資源化
- ・埼玉県 東京都 産業廃棄物収集運搬(積替保管含む)許可

〒340-0833 埼玉県八潮市西袋565-1
TEL.048-928-1048 FAX.048-928-1048



Working Process

01 古紙搬入/荷降し



02 選別/圧縮梱包



04 出荷



03 保管



行政回収・事業系古紙回収で受入れた様々な古紙を紙質別に仕分け、回収古紙をほぼ100%製紙原料化します。

所沢事業所

出版共同流通株式会社所沢センター内で業務を行っています



Plant Data

- ・主に段ボール・書籍残本の処理

〒359-0011 埼玉県所沢市南永井619-15
出版共同流通株式会社 所沢センター内
TEL.04-2946-5580 FAX.04-2946-5580



蓮田事業所

出版共同流通株式会社蓮田センター内で業務を行っています



Plant Data

- ・主に付録・難処理出版物の資源化
- ・ISO27001認証取得

〒349-0131 埼玉県蓮田市根金1464-1 出版共同流通株式会社 蓮田センター内
TEL.048-766-721 FAX.048-766-7210



Plant Data

- ・2,500t/月の処理能力
- ・主に新聞・雑誌・段ボールを回収
- ・厚木市行政回収拠点
- ・面積:1,600㎡

設備	100馬力ペーラーマシン 1基(100t/日) 破袋機 1台 細取機 1台 選別ライン 1台
----	---------------------------------------------------------

保有車両	4tパッカー車 5台 4tウイング車 1台 3tパッカー車 4台 2t車 2台
------	--------------------------------------------------

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
一般廃棄物処理施設(圧縮施設)	許可
産業廃棄物再生事業者	登録
産業廃棄物収集運搬許可(積替、保管含む)	許可
神奈川県計量証明事業	登録
省電力	日本テクノ株式会社SMARTMETERを使用し、デマンド管理を行い省電力に努めています
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています

難処理系一般廃棄物	厚木市から受託し、従来古紙になり得なかった雑紙(ミックスペーパー)廃棄物を再資源化して廃棄物の減量に努めています
機密文書	企業から機密文書の処分を受託し、再資源化しています

川崎事業所

各店舗から回収された段ボールの処理と東急ストアリサイクルセンターの管理業務



Plant Data

- ・主に各店舗から回収された段ボールの処理

〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島23-4



ISO 14001 環境方針 マネジメントシステム

■ 基本理念

当社は地球環境の保全に努めることを基本とし、温暖化の防止、廃棄物の削減等、次世代の子供達の地球環境が、今よりも少しでも良くなる様に願い、環境破壊を少しでも低減できることに継続的改善を進める。

■ 基本方針

- 1 情報セキュリティとは、情報の機密性・完全性・可用性を維持することと定義する。

当社の管理下にある、すべての業務活動に関わる情報を対象とする。

- 2 (1) 古紙回収及び商品化の効率向上による古紙リサイクルに伴う環境負荷の削減
(2) 廃棄物の資源化によるゼロエミッションの推進
(3) 二酸化炭素排出量削減のための省エネルギーの推進
(4) 排出及び供給先ユーザーのニーズに対応しつつ、古紙回収の拡大に努め、関連行政・地域住民との連携を図り、地域社会に貢献する。

- 3 環境教育を通じて、全社員への環境方針を理解させ、環境負荷改善の実績を周知することにより、環境意識の向上を図る。

- 4 当社の環境方針は、一般関係者が入手することを可能とし、環境管理の実施状況を必要に応じて公開する。

ISO取得
ISO14001 (環境) 認証取得



ISO 27001 情報セキュリティ マネジメントシステム

■ 基本理念

お客様との信頼関係の上に成り立っています。当社がお客様の信頼を保持し、より良いサービスを提供していくためには、情報資産に対して適切な安全対策を実施し、紛失、盗難不正使用から保護しなくてはなりません。ここに「情報セキュリティ基本方針」を定め、当社の管理下にある情報資産の適切な保護対策を実施するための指針とします。

ISO取得
ISO27001 (情報セキュリティ) 認証取得



- 1 情報セキュリティの定義 情報セキュリティとは、情報の機密性・完全性・可用性を維持することと定義する。

- 2 適用範囲 当社の管理下にある、すべての業務活動に関わる情報を対象とする。

- 3 管理者の任命と義務 会社は情報セキュリティ委員会を設置するものとする。情報セキュリティ委員会は、全面的にISMSの推進を図るものとする。情報セキュリティ委員会は、各部門から責任者を任命する。責任者は各部門におけるISMSの推進に努めること。

- 4 リスクの特定と情報セキュリティ目標 情報セキュリティ委員会は、「情報セキュリティマネジメントマニュアル」で定めた方法でリスクを特定する。特定したリスクに対して最適な情報セキュリティ管理策を講じるものとする。すべてのリスクを定められた受容可能なリスク水準以下に軽減することを情報セキュリティ目標とする。

- 5 従業員の義務 アルバイト社員を含む全従業員は、「情報セキュリティ基本方針」、「情報セキュリティ規定」および情報セキュリティの手順に準じて行動すること。

- 6 個人情報保護 会社は、個人情報保護法に準じて個人情報を管理するものとする。

- 7 機密情報管理 会社は、不正競争防止法に準じて顧客および当社の秘密情報を管理するものとする。

- 8 著作権保護 会社は、著作権法に準じて著作物を管理するものとする。

- 9 秘密保持契約 会社は、顧客との秘密保持契約事項に準じて情報を管理するものとする。

- 10 教育 情報セキュリティに関する啓蒙・教育活動は、経営層の支持のもと、情報セキュリティ委員会で推進を図るものとする。

認証・許認可

■ 認証

環境マネジメントシステム (ISO14001)	2002年4月26日認証取得 2021年度の更新審査においては是正処置を必要とする重大な不適合はありませんでした。
認証機関	一般財団法人日本品質保証機構 (JQA)
情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001)	2006年9月15日認証取得 2021年度の更新審査においては是正処置を必要とする重大な不適合はありませんでした。
認証機関	一般財団法人日本品質保証機構 (JQA)
古紙商品化適格事業所認定	厚木紙資源センター、彩京資源化センター、三芳資源化センターで認定
認証機関	全国製紙原料商工組合連合会

■ 環境報告

株式会社富澤はCD・DVD・玩具などに使用されている紙又は行政回収された様々なミックスペーパーなどを選別し、古紙化しています。これ等は従来古紙になり得なかったもので、産業廃棄物若しくは一般廃棄物として焼却又は埋め立て処分されてきました。これらを福祉施設や弊社の資源化ラインを介して、資源の再生と廃棄物の減量を図ることを可能にしております。「古紙は製品」という弊社の方針が環境保全に整合してる事例です。環境管理についてはISO14001を基に、又「2007年版 環境報告ガイドライン」を参考に弊社の環境への負荷を特定、測定し、継続的な改善を図っています。以下の頁などをご参照下さい。

■ 環境保全のための施策

株式会社富澤は環境保全の施策として太陽光発電装置を彩京資源化センターに設置しています。発電量は下記をご参照下さい。



各事業所の環境負荷項目・環境保全

■ 各事業所の環境負荷項目

事業所名	2021年度使用数量				
	電気(kwh)	都市ガス(m³)	LPG(kg)	軽油(L)	ガソリン(L)
本社	25,087	0	0	0	15,447
彩京資源化センター	280,075	0	21,376	39,313	2,922
三芳資源化センター	215,800	0	1,075	13,392	138
厚木紙資源センター	124,505	0	0	111,011	7,811
蓮田事業所	12,776	0	3,285	0	0
所沢事業所	0	0	846	0	0
川崎事業所	119,660	0	0	0	0
合計	777,903	0	26,582	163,716	26,318

二酸化炭素(CO²) 排出数量	換算係数	0.468(1,000kwh)	2.23(1,000m³)	3.00(1t)	2.58(1kl)	2.32(1kl)
	排出数量(t)	364.0	0	79.7	422.3	61.0
	事業所合計(t)	2021年度 927.0		2020年度 904.7		

原油換算数量	換算係数	0.25722(1,000kwh)	1.16(1,000m³)	1.31064(1t)	0.97266(1kl)	0.89268(1kl)
	排出数量(t)	200.0	0	34.8	159.2	23.4
	事業所合計(t)	2021年度 417.4		2020年度 406.9		

全事業所の環境保全	2021年度実績	
	エコカー	
	ハイブリット乗用車10台 / ハイブリットウィング車1台 / バッテリーフォーク10台	5,249kwh

社会性報告

■ 福祉施設への作業委託

株式会社富澤は埼玉県、東京都内の福祉施設と提携し、雑誌の付録などを素材別に選別し資源化を委託しています。学校、企業、各種団体等の紙リサイクル出張講習なども無料で行っています。

■ 社会貢献活動

社会福祉施設への作業委託数量		順不同
1	株式会社いきいき このまんま	
2	社会福祉法人 入間東部福祉会 むさしの作業所	
3	社会福祉法人 入間東部福祉会 三芳太陽の家	
4	社会福祉法人 入間東部福祉会 おおい作業所	
5	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会 埼玉県済生会 ワークステーション西川口	
6	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会 埼玉県済生会 ワークステーションみのり	
7	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会 埼玉県済生会 ワークステーションのぞみ	
8	特定非営利活動法人 くれおん あみくる	
9	社会福祉法人 ごきげんらいぶ らいぶ	
10	埼玉県立 浦和特別支援学校	
11	埼玉県立 戸田かけはし特別支援学校	
12	埼玉県立 草加かがやき特別支援学校	
13	社会福祉法人 川口市社会福祉事業団 生活介護きじぼと	
14	社会福祉法人 川口市社会福祉事業団 生活介護夢工房	
15	社会福祉法人 そよかせ 福祉作業所ひばり園	
16	特定非営利活動法人 たんぼぼ福祉村 one da full Days	
17	特定非営利活動法人 とさき	
18	社会福祉法人 友垣の里	
19	特定非営利活動法人 ともくん家 もんきいぼっど	
20	社会福祉法人 ひふみ会 光福	
21	社会福祉法人 ひらく会 みんな	
22	特定非営利活動法人 フレンズネットワーク フレンズNET	
23	社会福祉法人 鳩ヶ谷ほっとすてーしょん	
24	社会福祉法人 邑元会 しびらき	
25	株式会社リズム	
26	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ たいむ	
27	TETETARITO株式会社 ててたりと	
28	社会福祉法人 友遊会 詩膳II	
29	社会福祉法人 さくら草 デイセンターかりん	
30	株式会社まはる まはろ和光南	
31	社会福祉法人 戸田わかさ会 ゆうゆう	
32	社会福祉法人 平徳会 かなめ	
33	特定非営利活動法人 Take 第3テイク	
34	一般社団法人 からふる	
35	特定非営利活動法人 たらちね わかくさ	
36	特定非営利活動法人 Japan Imprvovement Association あある	
合計35施設 730t		

古紙リサイクルアドバイザー制度

「古紙リサイクルアドバイザー」認定制度は「古紙商品化適格事業所」の運営の円滑化のため、古紙リサイクルを業とする事業者、従業員の社会的地位の向上及び地域の古紙リサイクルの促進並びに円滑化を図ることを目的とします。認定資格取得条件は全原連の実施する認定試験に合格した者で、2021年3月末現在、当社では40名が認定取得しています。また、「古紙商品化適格事業所」には当該資格を持つ「品質管理責任者」がいることが義務付けられています。

■ 古紙リサイクルアドバイザーの職務は

- 1 「古紙商品化適格事業所」の「品質管理責任者」業務
- 2 地域の古紙リサイクル啓蒙活動への参加(出前講座の実施など)
- 3 行政及び地域団体あるいは古紙排出事業者への品質及び排出指導
- 4 製紙会社及びリサイクル関連業界の行う古紙品質勉強会への参加等を行う。

編集後記

夏の参議院選挙は自民党が単独で改選過半数を確保する大勝を収めました。そんな参議院選挙直前に安倍元首相が選挙演説中に凶弾に倒れるという痛ましい事件が起きました。依然として終息しないコロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵襲、円安経済という三重苦の中でいま岸田政権によせる期待は大きいと思います。今年で13版目となる「CSR報告書2022」を発行することとなりました。ご協力して頂いた方々に感謝を申し上げます。

Opinions from stakeholders

当社の事業に関わる事業者様、法人様、関係者様から寄せられた言葉

VOICE

ナショナルソード、パーゼル条約。これらが何を意味するかご存知でしょうか。前者は中国による産業廃棄物の輸入規制であり、後者は有害廃棄物の国境を越える移動と処分の規制に関する国際条約の名称です。何れも株式会社富澤様とのお取引の中で学ばせていただいた環境問題を語るには欠かせない知見です。日本国内で流通している雑誌は九州地区を除き、すべて弊社で返品処理を行っておりますが、雑誌返品とともに発生する別添付録は年間約4,000トンの規模であり、その処理をすべて富澤様へお願いをしております。昨今の雑誌売上は付録に支えられている側面がある一方で、返品された付録の処理と資源化は業界として考えていかなければならない課題でもあります。「社会と環境に役立つ会社づくり」を経営理念として掲げられている富澤様にご支援をいただきながら、出版流通の最終工程をともに担うパートナーとして、これからも出版業界のESG推進に取り組んでまいります。

新井 栄二 (出版共同流通株式会社 常務取締役)

VOICE

「循環型社会の進化に向けて」

世界中でSDGsの推進が課題となっています。日本でも循環型社会の構築が進められておりますが、製紙業は資源循環型の産業です。製紙工場で古紙を原料として使用するためには、品種ごとに分類された古紙を、決められた割合で製造工程に投入する必要があります。特に品種ごとに分別・選別することが重要で、それを怠ると製造工程で様々なトラブルが発生します。株式会社富澤様は、特に古紙品質への意識を高く持っておられ、常に品質のよい古紙を安定的に供給頂いており、古紙を使用する会社としてたいへん感謝しております。今後、循環型社会を進化させるためには、さらに古紙の分別・選別を進める必要があり、株式会社富澤様が持っておられる強みを生かせるものと期待しております。最後になりますが、貴社の一層のご発展を心より祈念申し上げます。

大淵 成啓 (日本製紙株式会社 古紙調達部 部長)

VOICE

思い描いたものをカタチに！

株式会社富澤様とは2020年より、古紙回収業務を中心にお取引をさせていただいており、リサイクルに関する知識及び分別方法などをご教授いただき当社としても、リサイクルにおける意識向上を図ることによって、少しでも環境問題に意識を傾け地球環境問題への配慮を行いながら、新たな紙器製品の製造を幅広く考えていきたいと思っております。富澤様の会社理念(社会と環境に役立つ会社)を参考にさせていただき、今後も環境配慮はもちろんのごと社会に貢献できるように、努力をしていく必要があると考えております。最後にはなりますが、今後も富澤様の更なるご活躍をお祈念申し上げます。

高野 亮次 (株式会社 太陽技報堂 取締役社長)

VOICE

環境問題・地域貢献活動を柱に循環型社会の形成に貢献されています。

株式会社富澤様におかれましては長きに亘りお取引を頂いております。古紙問屋として紙のリサイクルのみならず、近年では廃棄物の再資源化を推進し、省エネルギー、ゼロ・エミッションに取り組む、循環型社会を目指し環境保全に貢献しておられます。また、地域の福祉施設と協力し、障がいをおもちの方々の自立支援の援助を行い、地域社会にも貢献しておられます。当金庫でも2019年より「グリーンサポート運動」に参加させて頂いております。今後とも、環境と地域社会に配慮した企業として、益々のご発展をお祈り申し上げます。

平原 直人 (城北信用金庫 朝日町支店 支店長)

VOICE

私たちが居る事業所「このまんま」では、いつも朝の会で「今日古紙回収参加できる人！」と尋ねると、ご利用頂いている方々から沢山の手と元気な声が上がります。参加人員の選抜に一苦勞しています。それ程、利用者の皆様にとって、「古紙回収」というものはとても大きな存在、大切な仕事になりました。現在私たちは、近隣の郵便局・小学校・薬局・民間企業を回り、段ボールや古くなった教科書・ノート・古雑誌などを回収し、資源化センターまで車で運ぶ作業に取り組んでいます。1枚のダンボール紙・一冊の教科書を手に持ち、車に運び、センターに届ける。比較的重い知的障害を抱えられ、これまで限られた環境での生活が続く、「仕事」が出来なかった方、「お給料」を貰ったことのない方が、グリーンサポート運動を通じて地域住民の方々と関わり、「頑張ってるね」「また来てよ」と暖かい声を掛けられ、お給料を貰えるようになる。今日も笑顔で遅しく「行ってきます！」と言って外の世界に出掛けて行きます。ご家族から「この子が生まれて初めてお給料を貰った」と喜びの声を頂くこともあります。その流れは、一筋の小さな水の流れがやがて連綿と続く大きな川になるように、ご利用頂いている方一人ひとりの欠かせない生活の一部として根付き、眠っていた能力を引き出し、「明日は何処に古紙回収に行けるかな」と、楽しみや喜び、大きな活力になっています。外出が難しい方は、回収してきた古紙類を室内で仕分けする作業も仕事として取り組み始めました。きつと沢山の方々にとって、知る・学ぶ・動くこと、その大きなきっかけ・可能性が、グリーンサポート事業そのものなのだと感じています。これからも、携わる多くの方々にとっての一筋の水の流れになりますよう、心より願っております。

柳橋 大明 (株式会社いきいき 知的障がい者生活介護事業所 このまんま 管理者・サービス管理責任者)



<https://www.tomisawa.co.jp/>

[本 社] 〒 332-0011 埼玉県川口市元郷 3-21-31-2F
TEL.048-227-3098 FAX.048-226-2044
[事業所] 彩京 三芳 厚木 草加 蓮田 所沢 川崎